

中村じゅんや 議員だより



連絡先(事務所): 〒410-1107 静岡県裾野市御宿1500 全矢崎労働組合裾野支部内

<TEL> 055-997-1336

<E-Mail> junya_shizunaka@office.tnc.ne.jp

<FAX> 055-997-5745

<URL> <http://www.junya-susono.club/>

本年10月7日に裾野市議会議員選挙が行われます。

裾野市では、猛暑災害とも称された酷暑続きの夏から、東南アジアのようなスコール(ゲリラ豪雨)がおり、8月12日には激しい雷雨で市内あちこちの家電製品、街路灯、防犯灯が故障。そして連続する台風の来襲。穏やかなようでそうではない2018年の夏、日頃の備えは役立ったのでしょうか？
現在裾野市議会9月定例会が開催されておりますが、それが終わると裾野市議会議員選挙が行われます。この4年間の裾野市政はどうだったのでしょうか？1月に市長選が行われましたが、今年の市政をどのように感じていらっしゃるのでしょうか？ 自分たちのまちは自分たちで作る。市議会は二元代表制です、皆さまの思いを示すためにも、投票には必ず行きましょう！

9月定例会抜粋報告(審査中のH29年度決算以外の部分です)

★補正予算に関するもの★

■小中学校へのエアコン設置に向けて

今年は猛暑が続き、教室内の最高気温が30度を超える日が続く、7月には最高室温が35度を超えてしまう教室もありました。保健室の利用も増え熱中症の危険性が高まっている事から、猛暑災害対策として位置付け、校内全教室の空調が管理できる体制を整えることになりました。エアコン等空調機器の整備について調査・設計する為の予算150万円の補正が提出され可決しました。

全ての設置には2～3年かかる中、今も続く暑さに対する対策を要望。私は簡単に移動でき、水を利用した気化式冷扇機などの試行導入を提案しています。安全を優先しつつも、小規模校の統合や更新予定の学校の維持方法などを考えつつ、効果的な空調管理を期待します。



空調管理の手法も様々。個室毎管理する方法や学校全体をビルのように考えるセンター方式。それぞれの動力源も電気やガス、化石燃料など様々。某会社の木質ペレットもその一つ。

この際、森林環境税の活用として間伐からペレット化までを事業化し、学校エアコンの原料とする地産地消の仕組み構築も良い気がします。ピンチはチャンス！どうでしょうか。

■Y-CITYアルミ缶回収委員会の寄付

昨年度に引き続き市に寄付。今回は東中学校通学路の防犯灯などのLED化にと200万円。矢崎Y-CITYに係りある方々の日々のご協力の賜物です。



ありがとうございました！

■小規模認可保育園新設準備中

保育園待機児童は、表面の数字上「0」の裾野市。しかしながら隠れ待機者はいらっしゃいます。希望の園に入れないためあきらめた方、3歳に満たない子どもの受け入れ先がそもそもない方、希望外の園に入れたが送迎で苦労しており転園を希望する方。保育園はやむを得ない理由により家庭で育児できない方のためのも。今は共働きも十分その理由に当てはまるこのことで、待機児童が問題視されています。

この度、ひだまり保育園hugu(ハグ)さんが小規模認可外保育所開設に向け準備を始めたいとのこと。あくまで予定ですが、西地区で0歳～2歳を対象に定員19名での開所を目指すとの事。ぜひ無事審査が通り開設いただける様応援をよろしくお願い致します。



★この時期になり気付いたこと★

年4回実施される定例議会が終わると、その議会で決定した事や議論された事、各議員の一般質問のやり取りなどを取りまとめる議会だより編集委員会が活動を開始します。約3週間程度で編集し発行しています。私も後半2年間で編集委員を拝命し、議案名→簡易見出し、一般質問の項目集約、表紙のシリーズ化などの改善を行ってきました。もちろん重要なのは各審査内容の公開です。ところが、この9月議会終了後の議会だよりは、すぐ選挙となることもあり、選挙後の新議長や新委員会構成の紹介が中心の紙面になるそうです。委員会が機能せず、議会事務局が代行するためなのですが、では今回審査している9月の補正や決算の審査内容の報告は？現状その機会はないのです。昨年度の事とはいえ、本当に財政状況は厳しいのか、そのための努力をしたのか、事業に無駄がないかを審査します。それを元に来年度の予算を審査しますから、視点をお報せするために、今後改善が必要となります。

1期目1年目は、議員になる前の経験を基にした市政に対する内容で一般質問を行い、そういったことがなぜ進められないのか、制度や仕組みを勉強しました。2年目、勉強を元に制度の隙間や、制度そのものの改正権限がある程度市にあるものについて、一般質問を介して訴え、市の取り組む意欲の度合いを確認すると、「財政状況が厳しく予算が・・・」と答弁が目立ってきたので、時代の変化と共にニーズが変化しているにも係らず実施している事業や、公共施設として将来的にも市に必要なものがいつまでも借地の上に立っているリスクを提示し、事業の廃止や借地の解消を提示し、財源を作り出す一般質問を3年目に実施。市長選挙を前にしたタイミングでもあったためか中々前に進むことはありませんでした。いよいよ4年目、事業は目的達成のための手段です。継続する中で、目的を見失ったものや、手段を履き違えていると思えるものに対して、もう一度基本を振り返り、悪さは直していこうと訴えています。今回は大きく3点を質問します。質問内容と思いをご紹介します。

①「障がい者の自立＝就職」ではないよ！

巷で話題の法定雇用率もあり、障がい者の就労の機会は確実に広がっています。一方、行政の福祉支援は、障がい者が就労し給料をもらえるようになると「自立」と判断され、積極的支援対象から外れます。しかし労働時間外の生活は個人に委ねられており、生活リズムが乱れると遅刻、欠勤につながり、職を失うという現状もあります。事業所の支援担当者の負担も増大。生活を安定させ社会的に自立できるよう就労の有無に係らず、包括的な支援を行える機関の設置が必要では？

②ゆるキャラすそのんは、何の為に存在してる？



市民に浸透してきたマスコットキャラクターすそのん。本来の目的は何だったんでしょう？市内外あちらこちらのイベントで姿を見ますが、税金を投じて作り活動した結果、市にどんな効果をもたらしているのか。

私は、裾野市の営業マンだと思います。市民の認知度を高め、愛着と応援を得て、さらに市外へと広げる。そのシェアで地域の売込みをして地域イメージを高め、産業や観光の活性化に繋げる。今どの位シェアを持っているのか？営業活動はしているのか？どれだけ貢献しているのか？そもそも目的は忘れていないよね？ など確認します。

③市民協働とは、「市民の困り事を行政が助ける」という上から目線のものでなく、市民のお力をお借りして、結果幸福度を上げる手法では？

「裾野市って一向に進まないよね」「何かって言う」と市民協働。市民のみなさまを応援するばかり「市が先導しないのか」「何に力を入れて進もうとしているのか分からない」という声が寄せられます。その一方で、多くの知恵や手を借りたいという事業もあります。本来の協働は、互いの想いと課題が、融合により前に進められる事で効果をだせる仕組み。そうならば、助けて欲しい事を公開し、また市民も自身の得意な分野或いは技術を公開する事で、協働

相手を探しやすくする事が必要では？そこで、市民が自身を紹介できる人材能力バンクのような仕組みを設けてはどうか提案します。生涯学習のすすめもあり、どの年代でも学びの場は増えるでしょう。取得した知識や技術をバンクに登録していく事はやりがいにも繋がります。また貴方に手伝って欲しいと能力を認められることは、モチベーションも違います。個人的には特に教職員OBの方に積極的に登録頂き学校運営の多忙化解消、子どもの能力向上を助けてもらいたいと思っていますが、どうでしょう、



さて、13日の議会では、どんな回答となるのでしょうか？ お楽しみに！！

各種活動のご紹介

▼呼子区花壇整備

毎年恒例となった裾野原緑の会さんの環境整備活動。今回も裾野高校の多くの皆さんが参加くださり、呼子大橋から続く花道を整備してくださいました。暑い日でしたが、作業のあとは呼子ファームでBBQ。環境も人間関係も良好となる活動です。



▲会派行政視察

今回は高知県（大豊町、津田町、須崎市）廃校利用や地域活性化を学ばせて頂きました。レポートはホームページにて。



▲富岡夏祭りで育成会さんの法被を纏わせて頂きました。もっと練習しなきゃ、すみませんでした。

▼議員活動報告

私の軸としている考え方を中心に寄せられたご意見と展開などを報告させて頂きました。



いつも中村じゅんやに多くのご意見をお寄せ頂き、深く感謝申し上げます。後援会のみなさまに支えながら、2期目に挑戦する中村じゅんやを、引き続き叱咤激励くださいますようお願い申し上げます。